

第6回ミラたんカップボッチャ大会 大会申し合わせ事項

1 競技規則

本大会は「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 V.2」及び魚津市ボッチャ大会申し合わせ事項によって実施する。

2 競技方法

- ・ 1チーム2～6人とする。(年齢、性別、障がいの有無、ボッチャ経験の有無の制限なし)
- ・ 予選リーグを行い、上位チームで決勝トーナメントを行う。
- ・ 1ゲーム4エンド¹にて行う。(脚注1参照)
- ・ 1エンドは5分以内とする。
- ・ 1ゲームの総得点で勝敗を決定する。同点の場合はタイブレーク²により勝敗を決定する。

(脚注2参照)

3 予選・決勝

- ・ 予選リーグを行う。
- ・ 各コートの1位チームで決勝トーナメントを行い、順位を決定する。
- ・ 順位決定方法は、①勝ち数、②得失点差の多いチーム、③総得点の多いチームとする。それでも決まらない場合はタイブレークにより決定する。

4 コート

- ・ サイズを一部変更・縮小して行う。
- ・ 縦6m×横5mとする。
- ・ スローイングボックスは4分割とする。(赤チームボックス×2・青チームボックス×2)

¹ 1エンドは、赤・青の両チームが、全てのカラーボール（赤6球・青6球）を投げ終わるまでの一区切り。

² タイブレークは、各チーム代表者による1球のみの投球を行い、ペナルティーボックスに置いたジャックボールにより近い方が勝ちとなる。

5 ボールの投球

- ・各チーム6球ずつのカラーボールを使用する。(赤6球・青6球)
- ・先攻後攻はジャンケンによって決め、1エンド目の先攻は赤、後攻は青とする。
- ・2エンド目の先攻は青、3エンド目の先攻は赤、4エンド目の先攻は青とする。
- ・各チームの投球エリア内であれば、どこから投球してもよい。
- ・先攻側が的となるジャックボール（白）を投げ、続けて1投目の投球を行う。
- ・後攻側が最初の投球を行う。
- ・以降、ジャックボールからより遠い位置にボールのあるチームが投球を行う。
- ・赤、青とも6球ずつ投げ終えた時点で得点を計算する。

6 その他

- ・全てのボールは、ラインに触れたり、ラインを越えたりした場合は、コート外に出たものとみなし、審判によって取り除く。
- ・ジャックボールがジャックボール無効エリアで静止した、または、サイドラインやエンドラインを越えてしまった場合は反則となり、相手にジャックボールを投げる権利が移る。
- ・チームメンバー内でのコミュニケーション（会話）は認める。また、投球前であれば、コート内に入りボールの位置を確認してもよい。
- ・両チームのカラーボールがジャックボールから等距離になった場合、最後に投球したサイドが次に投球する。その後は、等距離の関係が崩れるか、どちらかのサイドが全てのカラーボールを投げきるまで、両サイド交互に投球する。等距離の状態が変わった後は、通常通り競技を継続する。

